

## 平成 17 年度 第 3 回 幹事会議事録

(社) 日本地すべり学会

日 時：平成 17 年 11 月 30 日 (水) 11 時 00 分～14 時 50 分

場 所：学士会分館 (東大赤門隣) 8 号室

東京都文京区本郷 7 - 3 - 1      TEL 03-3814-5541

出席者：		区分	氏名	出欠	区分	氏名	出欠	
三役等	会長		山 岸 宏 光	○	各支部長	北海道	前 田 寛 之      ○	
	副会長		吉 松 弘 行			東北	国際部長兼任	/
	副会長	新潟支部長	丸 井 英 明	○		新潟	副会長兼任	/
	専務理事		落 合 博 貴	○		中部	北 澤 秋 司	○
	前会長		佐 々 恭 二	○		関西	末 峯 章	○
	表彰委員長		藤 田 壽 雄	○		九州	宜 保 清 一	
各部部长	教育問題委員長		岩 尾 雄 四 郎	○	支部長代行	北海道	米 田 哲 朗	
	総務		広 嶋 孝 也	○		東北	千 葉 則 行	○
	編集出版		松 浦 純 生	○		新潟	古 川 昭 夫	
	事業計画		檜 垣 大 助	○		中部	小 野 和 行	
	国際	東北支部長	宮 城 豊 彦	○		関西	福 岡 浩	
	研究調査		山 崎 孝 成	○		九州	福 田 順 二	
部長代行	総務		財政委員長兼務	/	部長代行	財政委員長	小 林 佳 嗣      ○	
	編集出版		阿 部 真 郎			広報委員長	太 田 英 将	
	事業計画		伊 藤 俊 方			庶務委員長	安 藤 範 仁      ○	
	国際		大 河 原 彰			出席者数		17
	研究調査		榎 田 充 哉		欠席者数		1	

### 【会議資料】

- |  |       |
|--|-------|
| 1. 第 2 回幹事会議事録                                   | 資料 1  |
| 2. 平成 17 年度幹事会名簿                                 | 資料 2  |
| 3. 次期役員選挙スケジュール                                  | 資料 3  |
| 4. 次期表彰委員名簿 (案)                                  | 資料 4  |
| 5. 研究発表大会企画員会審議内容                                | 資料 5  |
| 6. 新規出版事業について                                    | 資料 6  |
| 7. インタープリバント国際会議                                 | 資料 7  |
| 8. パキスタン地震国際会議                                   | 資料 8  |
| 9. 個人情報の取り扱いについて (案)                             | 資料 9  |
| 10. 研究調査部報告                                      | 資料 10 |
| 11. 平成 18 年度 (社) 日本地すべり学会 第 45 回研究発表および現地見学会について | 資料 11 |

### 【参考資料】

1. 円卓会議について

## 1. 開会

会長の挨拶

前回議事録の承認

## 2. 議題

### 2.1 次年度事業の運営について

#### (1) 総務部 (役員選挙の実施, 総会) 資料-3

- ◆ 平成 18・19 年度役員選挙スケジュールの説明  
理事候補者は理事候補者推薦委員会で選出する。

#### (2) 事業計画部 (シンポジウム, 研究発表会) 資料-11

- ◆ 第 45 回研究発表会及び現地見学会 場所 鳥取県鳥取市 日時：2006/8/29～9/1  
場所：鳥取県民文化会館 担当省庁：国土交通省 砂防部  
実行体制：従来とおりの方式で開催予定 再来年度以降は不明 早めに実行体制等を検討する必要がある。
- ◆ 平成 18 年度日本地すべり学会総会・シンポジウム  
日時：平成 18 年 5 月 12 日 場所：東大弥生講堂

#### (3) 出版部 (学会誌および新規出版事業等) 資料-6

- ◆ 学会の出版物の意義, 出版物の現状, 今後の出版物計画について説明  
鵜飼先生の「地すべり解析における有限要素法の利用」 出版社経由で来年の 8 月出版予定  
価格 ¥4,000 部数 500～600 部を予定
- ◆ (社) 地すべり学会出版規則 (案) について, 著作権や出版方法などを再度企画委員会で検討し来年の理事会で承認を受けたい。その後の出版物はこの規則に従う。
- ◆ 不定期刊行物の計画として「目でみるすべり面シリーズ」, 「現場で役に立つ地すべり工学」を計画 鵜飼先生の出版物 PR をHPで準備する。

#### (4) 国際部 (インタープリバント国際会議の協力について 国際シンポジウムの誘致, パキスタンの地震国際会議について) 資料-7, 資料-8

- ◆ インタープリバントシンポジウム 日時：2006/9/25～9/29 場所：新潟市  
インタープリバントとは国際防災学会である。新潟県では、中越地震により多くの土砂災害が発生した。このため、被災地である新潟市で国際会議の開催を計画している。主催は砂防学会, 新潟大学, 共催として (社) 日本地すべり学会が参加 参加人数 100 名程度 (社) 日本地すべり学会としての負担金は 10 万から 15 万程度としたい。事務局を大学内に置き, 経費削減を図る。資料-7 の団体名称を修正する。

- ◆ パキスタン地震の国際会議 2006/1/18～19 に地震災害の会議を開催したい。  
パキスタン地震災害のワークショップ 地震災害以外に落石や GIS をテーマとしたい。  
地すべり学会としても積極的に参加して欲しい。宮城先生を中心として参加予定  
国土地理院 3名参加予定
- ◆ ICFL (地すべりに関する国際会議) 別途資料参考  
今年はノルウエーで開催された。2008 年はスイスで開催計画がある。そこで、この国際会議を日本で 2007 年頃開催したい。日時、場所を今後検討して行きたい。
- ◆ 円卓会議 参考資料  
主催：国際斜面災害研究機構 (ICL) 場所：国連大学 5 階 日時：2006/1/18～20  
初日の 1/18 はテーマを決め、1/19 に 4 つのグループに分かれテーマ別検討会、最終日の 1/20 は総括、発表の予定 この国際会議に参加して、地すべり学会の研究等を PR し、発表して欲しい。

(5) 研究調査部 (調査・研究委員会等) 資料-10

- ◆ 本部受託 2 件 予定の②は国土交通省都市計画より「盛土造成地の危険度判定」の依頼  
宅地埋め立て盛土の危険判定調査 地震時の変動予測をおこなう。  
支部受託 1 件 地すべりの危険度評価 1400 箇所の危険値のデータベース化
- ◆ これらの報告書はそのまま公表するか、またはダイジェスト版として地すべり学会の HP など  
で閲覧できるようにして欲しい。

(6) パキスタンの地震災害について 東畑先生からの現地報告

- ◆ 建築物の転倒、崩壊などの被害が著しいが、建築物の構造自体にも問題がある。(わずか  
20gal で建物が転倒する例が多い) 斜面災害は、風化岩の表層が崩落して被災を受けたケー  
スが多い。災害発生時が乾期に相当したため、崩壊主体の斜面災害となった。治安に関して  
は問題ない。

2.2 次期表彰の委員の選任 資料-4

- ◆ 新たな表彰委員名簿を理事会で検討した。次期委員長は古谷先生に依頼したい。  
若い人に参加してもらい刷新を図る。

2.3 個人情報保護法の施行に伴うプライバシーポリシーの制定について 資料-9

- ◆ この資料案に問題がなければ、地すべり学会 HP の学会入会頁に記載したい。

### 3. 報告

#### 3.1 専務理事より報告

##### ① 関東支部の設立準備状況について

11/17 前橋で設立準備会を開催。支部長 鵜飼先生 16名の委員を就任要請、  
12/7に日本工営で運営委員会を開催したい。運営規程等の作成、  
平成18年4月に第1回の総会を予定している。

##### ② 研究発表会の開催決定方法 資料-5

支部との共催を基本とする。県へ開催を依頼する場合、経済的メリットを提示し、協力を  
要請する。2007年からは、支部で開催を検討してから、本部が関係省庁へ依頼する。

#### 3.2 各支部の会勢 北海道支部からの報告

- ◆ 6/30に企画員会を設立し委員を公募。11/25に第1回企画委員会を開催。今年度は、会  
勢拡大策を検討し、来年から実行に移す予定。本部からは、事例紹介等の教材を用意して欲  
しい。また、支部で現地見学会を開催する場合、災害保険等について本部からの指導を願う。

#### 3.3 事務局より税務調査について

- ◆ 学会に税務調査が入り、追徴金が233万と指摘された。その大部分が支部の書籍販売である。  
そこで支部の経費を整理して提出した結果、最終的な追徴金は128.1万と約1/2となった。  
追徴金の7割が消費税である。

### 4. 開会

以上

(記録：安藤，文責：広嶋)